

安全保障にかかわる外資規制

経済と安全保障のバランスを求めて

村山裕三

同志社大学

安全保障貿易学会 08/09/13

外資規制問題の出現

- Jパワー 対 TCI
- 空港に対する外資規制の法制化問題
- 対日投資有識者会議
- ボーダフォンによる日本テレコムを買収
(2001年)
- 中国企業による池貝鉄工所を買収(2004年)

「色のついたマネー」？

- お札に色はついていないのか？
- 新興国(中国、ロシア、中東など)の台頭
- 政治的な懸念：米国、日本、EU 対 新興国
- 「政治的な色」がついたマネーの出現？
- 不透明な政府系ファンドー戦略技術の流出？

技術の軍民両用性

- 多くの民生技術は軍民両用性を持つ
- 民生技術が技術発展をリードする時代
- 両用技術の軍事技術戦略への組み入れ
 - ・ 米国
 - ・ 中国
 - ・ 韓国

外資規制強化のトレンド

- 米国－2007年、エクソン・フロリオを強化
- フランス－2005年、戦略11分野の公表
- ドイツ－2005年、規制対象の追加
- カナダ－投資法、独禁法の見直し機運
- ロシア、中国－規制強化の方向
- 日本－2007年、外為法改正

経済と安全保障をバランスさせる

- 安全保障貿易管理と共通点
- 戦略技術の取得：M & Aは強力な手段
- 日本一対日直接投資加速プログラムの実施：
外資規制とのバランスは特に重要
- 通商国家にとって経済安全保障は生命線：国
際社会に見識を示す必要性

(1) 規制の論理の確立

- 何のための外資規制か？
 - 兵器(大量破壊兵器)の不拡散
 - 技術基盤の維持、発展
 - ・防衛技術基盤
 - ・インフラ関連？
 - ・「安全・安心」関連？

(2) 審査判定の枠組み

- 迅速で論理的な審査のためには、内部的な判定の枠組み作りが必要
- 技術の戦略性の高さの判断
- 買収相手の属性の判断
- X によるケースバイケースの判断

(3) 軍民両用性の専門知識向上

- 軍民両用性の分析
 - ・材料 対 部品 対 製品 対 システム
 - ・プロセス技術 対 プロダクト技術
- 誰が判断するのか？
 - ・関係者の知識を終結
 - ・人材育成の必要性

(4) 情報収集能力の向上

- 各国の防衛技術政策の分析
 - 情報共有システムの確立
 - インテリジェンス能力の向上
 - * 「内外無差別」は無意味、「外外差別」の世界
-
- 政府系ファンドをどう扱うか？
 - ・ 新興国のファンドは不透明
 - ・ 情報開示の国際的な枠組み作り

(5) バランス手法の開発

- 基本
 - ・経済的にプラスー受け入れ
 - ・安全保障上マイナスイ拒否
- 条件付き認可の手法
 - ・プラス部分の受け入れとマイナス部分の拒否を同時に実現する手法

終わりに